

I 事業期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日(年間活動日数365日)

II 事業の成果

1 ケアプランセンター

(介護保険居宅介護支援)

- ・今年度も過去の利用者の再開や、口コミでのサービス依頼があった。また地域包括支援センターからの新規の依頼はできるだけ受託し、きめ細かな対応を心掛けることで、地域包括支援センターからも信頼を得て毎月新規ケースの依頼がある為、サービス利用人数は安定し結果として利用者数が増えた。
- ・特定事業所加算の算定要件である会議は週1回開催。全員が順番に議題を提供することが定着したことで、各自自主的に研修の内容を整理したり、サービスの資質向上や接遇に対する情報収集などを意識して行うことができるようになった。
- ・年間通してすべての研修がリモートで行われた。ケアマネージャそれぞれがZOOMにも慣れ、各自でZOOM研修を受けることができるようになった。

(障がい計画相談支援)

- ・今年度は新たに9名の利用者様を受け入れするも、既存利用者様の相談支援の終了や介護保険サービスへの移行等で、請求実績件数では昨年比較でほぼ横ばいである。しかし今年度は報酬単価の引き上げがあったため辛うじて収入実績は伸びた。収入に対する人件費比率が100%を下回ることができた月もあったが、月毎のばらつきは依然大きい状況である。
- ・利用者様への相談支援については社会資源が限られている中、施設やグループホームへの入居支援等、定期的なモニタリングとそれ以外の急な要請にも臨機応変に対応した。その中で他関係機関との連携、協力関係を強め、利用者様に将来の見通しが持てるよう貢献した。
- ・引き続きサンキューネットデイサービスセンターでの共生型サービスの提案、通所して頂くことで利用者様の精神的安定と、「生活の質」の向上に繋げることができた。

(ケアプランセンター共通)

- ・コロナウイルス感染予防対策については、昨年に引き続き事業所内での手洗い、うがい、消毒や換気、マスク着用等を行い、また必要に応じて在宅勤務も行うことで、少しでも職員同士の感染が広がらないような体制で業務を進めた。そして在宅勤務においては一部職員の自宅パソコンからの遠隔操作の導入や、個人用携帯電話の支給もあり、効率的に業務を進めることができる環境が整った。
- ・毎月の定例会にて介護保険居宅介護支援、障がい計画相談支援の双方のサービスについて、地域の動向や制度等の情報交換を行い、ケースについても相談しあうことで質の高いサービスを提供できるように努めた。

2 ヘルパーステーション

- ・ 昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言解除後は感染予防対策に留意しながら定例会、集団研修を実施。1月以降はまん延等重点措置・延長に伴い、事務所に集まったの定例会、スタッフ研修の実施は中止したが、インターネット動画等を使用し個々で研修後レポート提出をしてもらった。
- ・ 登録ヘルパーの事務所への立ち入り等は制限せず感染症予防策をとりながら意見交換等を行った。
- ・ 事務所詰めヘルパーの仕事の効率化、標準化を図り、お互いがフォローしながら仕事を行う事で業務時間の軽減、休みの取りやすさ(有給休暇)等に繋がった。
- ・ インスタグラムを始めた。

3 デイサービスセンター

- ・ 令和3年度は、新型コロナウイルスの脅威をより身近に感じ、不安を感じながら運営した1年であった。
- ・ 施設行事では夏祭りやクリスマス会等は小規模な形で実施し、利用者様で折った千羽鶴を広島平和記念公園に奉納した。
- ・ 外部ボランティアの受け入れやカラオケは中止したが、コロナ禍であっても利用者様に楽しんでいただけるようなイベントを毎月企画し、実施した。
- ・ スタッフの研修は必要に応じてインターネットの教材を活用し、介護に携わるスタッフ全員が毎月参加できるように工夫を行った。
- ・ 無資格のスタッフには認知症基礎研修をeラーニングにより受講していただき、資格の取得支援を行った。
- ・ 消防訓練の実施、消防用設備の点検を行い、消防署に結果を報告した。
- ・ 共生型生活介護サービスを開始した事によって、デイサービスセンターに若い利用者が若干増えた。65歳になり介護保険に移行された生活介護の利用者も、慣れ親しんだ事業所を継続して利用できるという事で、大きな混乱もなく施設を引き続き利用出来ていた。
- ・ サンキューネットだよりを毎月発行した。

4 事務局

- ・ 認定NPOの認定有効期間が本年10月19日で終了となったが、認定の再申請は行わなかった。
- ・ 寄付金賛助金は延べ 42件あった。
- ・ 頂いた現物寄付は、主にデイセンターで使用の他、支援が必要な方に寄付した。
- ・ 利用料金の集金方法をこれまでのゆうちょ銀行に加え、リコーリースと契約し、口座振替による利用者の利便性を考慮した。
- ・ 富田林市に富田林市中小企業者等事業支援金交付申請を行い、交付を受けた。
- ・ 特別利子補給助成金交付申請を行い、交付を受けた。
- ・ 感染防止対策支援事業補助金の申請を行い交付を受けた。
- ・ 介護職員処遇改善支援補助金の申請を行った。

- ・ 介護職員処遇改善加算・介護職員等特定処遇改善加算の届け出及び申請を行った。
- ・ 毎月運営会議を開催し、各部門や法人全体の実施状況やコロナ対応等見えてきた課題に取り組んだ。意見も活発にでてくるようになり、法人を全体としてみる意識が向上してきた。
- ・ コロナウイルス抗原検査キットを配布した。
- ・ ホームページの更新はできたが、機関誌の発行はできなかった。

・生活支援センター〔地域活動〕

〔葛城中学校区すこやかネット〕

葛城中学校区すこやかネットの会議・活動に参加し、地域との連携を図った。

今年度も前年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント活動は中止。情報誌の発行や会議などは行われていた。その為、葛城中学校区地域教育協議会のスタッフや葛城中学校の教職員と情報収集等や情報交換などを行った。

〔高辺プラザ〕

長年毎月開催される「高辺プラザ」に参加し、地域の方々との交流を続けてきたことで、営利目的ではない身近な相談機関として認知されている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言が発令された事により、「高辺プラザ」の活動を自粛されていた。

自粛されていた月には参加していなかったが、活動をされていた月には参加させて頂いた。また、「高辺プラザ」の運営に係わる高辺台校区福祉委員会の集まりに参加して、社会資源の情報収集等や情報交換などを行った。

〔ちいきつくりたい〕

毎月1回の定例会議に集まり、年間計画のもと地域相談会の企画・運営、ちいきつくりたい便りの発行、事例検討会等を行って、地域福祉のネットワーク化を目指した活動を行った。地域相談会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどが中止されたが、定例会はzoomを利用し、定期的に行われた。今年度は携帯電話の利用・買い物手段等についてのアンケートを行い、スマートフォンの利用が約60%、また、SNS(ソーシャルネットワークサービス)は半数以上利用されているという結果報告があった。SNSの利用内訳はLINEが多く、その事から、ちいきつくりたいでLINEアカウントを作成し、令和3年12月から情報発信を行っている。

ちいきつくりたいのメンバー(富田林市第3圏域 地域包括支援センターけあぱる、在宅介護支援センター錦織荘・オレンジ荘、富田林市社会福祉協議会CSW、NPO法人シーシータイミング、NPO法人きんきうえぶ、NPO法人サンキューネット)

〔さわやか元気クラブ〕

さわやか元気クラブは平成19年より、高辺台小学校をお借りして、地域活動の一つとして、体操教室を行い続けています。

体操やレクリエーションを行う場としてだけでなく、友人作りのきっかけの場やどこに相談していいのかわからない事を気軽に相談できる場としての役割を担っている。これまで、福祉委員会等、地域の色々な方にご協力いただき、休むことなく行っていたが、新型コロナウイルスの国内感染が増加に伴い、令和2年3月からさわやか元気クラブの活動を感染状況に合わせた状況で開催しています。開催していない月が続く時には電話連絡を行うなど、地域に根ざした活動を行っています。

〔他団体との連携・交流〕

地域密着型介護老人福祉施設「さえずり」で開催される運営推進会議に出席し、意見交換を行った。

富田林市社会福祉協議会の評議委員会は年2回実施され、2回目はコロナの状況下なので、リモート(Zoom)にて出席した。

Ⅲ 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

(1) 介護保険及び福祉関連情報の収集及び情報提供

下記(2)の事業を実施するにあたり、有用な情報を収集しサービス提供を行った。

(2) 居宅サービスに関する事業

この事業では、利用者が要介護状態などとなった場合においても、可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じて、自立した日常生活を営むことができるように配慮して、身体介護、その他の生活全般にわたる援助を提供した。

また、総合事業では「介護予防支援」「介護予防ケアマネジメント」のサービス利用者に対して可能な限り支援を要する状態を脱し、また、介護を要する状態にならないよう、共に生活動作を行いながら、利用者の改善の可能性を見つけ、できるだけ利用者が「している生活行為」の幅を広げていくことで、生活機能の向上を図り、利用者と共に利用者の「できること」を発見して引き出し、これを拡大し利用者の主体的な活動と参加を高めることを目指したサービスを提供した。

いずれも地域生活自立支援・法令遵守を基底におき、制度で出来ること・できないことを明確にし、制度外の社会資源を活用したプランを提案するなど、生活に根ざしたサービスとなるよう提供した。

① 介護保険法に基づく指定居宅介護支援・総合事業

内容	要介護者を対象に居宅介護支援サービス(ケアプラン)作成等の提供を、総合事業では、「介護予防支援」「介護予防ケアマネジメント」の受託事業を行った。
実施場所	サンキューネットケアプランセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～16:45) (但し、原則 土・日・祝・12/29～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者

	収入	支出	延べ実利用者数
令和3年度	17,690,816円	20,428,585円	2,343 名
令和2年度	18,650,670円	23,656,931円	2,102 名
31(令和1)年度	15,591,658円	20,253,127円	1,749 名
30年度	13,187,426円	16,360,599円	1,636 名
29年度	12,511,803円	15,474,488円	1,704 名

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予防ケアマネジメント	69	66	68	69	70	71	70	67	69	73	72	73
介護予防支援	31	32	36	37	37	36	36	37	37	41	41	40
要介護1	35	37	35	37	37	39	40	42	41	43	43	44
要介護2	21	20	22	22	23	24	25	25	25	25	25	26
要介護3	18	16	17	17	16	17	16	16	16	15	15	14
要介護4	8	7	8	7	7	6	6	6	6	6	7	6
要介護5	3	5	4	4	3	3	2	3	3	2	2	2
合計	185	183	190	193	193	196	195	196	197	205	205	205

※ 「介護予防支援」と「介護予防ケアマネジメント」の違い

	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント
対象者	要支援1・2の認定を受けた方のうち、予防給付を利用する方。	<ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリストにより「事業対象者」となった方 要支援1・2の認定を受けた方内、介護予防・日常生活支援総合事業のみを利用する方。
利用できるサービス	<ul style="list-style-type: none"> 予防給付 予防給付 + 介護予防・日常生活支援総合事業 	介護予防・日常生活支援総合事業のみ
要支援1・2の方の場合、その月に予防給付を利用するかしないかによって、「介護予防支援」と「介護予防ケアマネジメント」が月単位で入れ替わることになります。		

② 介護保険法に基づく指定訪問介護・総合事業

内容	訪問介護・総合事業サービス(介護相当)の提供を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市等にお住まいの介護保険被保険者ほか

介護保険	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	9,265,750円	10,063,863円	2,728 名	2,497.8 時間
令和2年度	9,699,604円	9,528,323円	2,698 名	2,546.9 時間
31(令和1)年度	9,459,902円	9,783,403円	2,924 名	2,803.8 時間
30年度	8,420,450円	8,197,413円	2,805 名	2,686.6 時間
29年度	13,795,747円	12,690,615円	4,304 名	4,355.0 時間

介護相当	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	10,542,759円	11,425,200円	2,983 名	2,715.6 時間
令和2年度	8,904,933円	9,418,150円	2,462 名	2,370.1 時間
31(令和1)年度	7,940,052円	8,052,048円	2,231 名	2,165.3 時間
30年度	7,283,374円	7,054,720円	2,157 名	2,088.0 時間
29年度	8,613,822円	7,893,121円	2,690 名	2,586.0 時間

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要介護1	8	9	9	10	10	12	14	14	15	16	17	17
要介護2	6	5	6	6	6	6	6	5	5	5	5	4
要介護3	7	8	8	9	9	9	9	9	9	8	7	9
要介護4	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
要介護5	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	24	26	27	28	27	29	31	30	31	31	31	32

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業対象者	3	3	3	4	4	3	3	3	3	3	2	2
要支援1	19	19	20	20	19	20	20	19	18	19	18	18
要支援2	19	20	22	22	22	25	24	25	26	26	26	26
合計	41	42	45	46	45	48	47	47	47	48	46	46

③ 介護保険法に基づく指定通所介護・通所介護相当

内容	通所介護・通所介護相当の提供を行った。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	毎日(9:00～17:00)実施
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市、河内長野市、南河内郡太子町・河南町・千早赤阪村、堺市等にお住まいの介護保険被保険者

	介護保険		介護相当	
	収入	支出	収入	支出
令和3年度	71,980,510円	64,586,769円	743,116円	793,958円
令和2年度	72,008,724円	65,946,728円	1,254,420円	1,478,825円
31(令和1)年度	66,010,789円	60,859,586円	1,745,806円	1,609,291円
30年度	72,014,868円	66,623,699円	1,527,825円	1,406,499円
29年度	69,788,111円	66,151,874円	1,334,677円	1,262,365円

通所介護(相当)	令和3年度	令和2年度	31(令和1)年度	30年度	29年度	28年度
延べ利用者数	7,359名	7,503名	7,491名	8,101名	8,156名	8,256名

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
要支援2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
要介護1	14	14	14	14	12	13	13	12	13	13	12	11
要介護2	14	14	15	16	13	13	14	12	12	12	12	11
要介護3	18	18	14	14	15	12	16	17	16	15	16	16
要介護4	16	13	14	14	19	16	18	16	16	15	11	12
要介護5	4	6	6	4	4	4	4	5	5	4	4	4
合計	68	67	65	64	65	60	67	64	64	61	57	57

④ 障害者総合支援法に基づく生活介護(共生型)サービス事業

内容	利用者が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事の介護、授産活動の機会の提供等を行った。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市・堺市美原区等にお住まいで障がい福祉サービス(地域生活支援)受給者証をお持ちの方

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	9	8	8	9	9	8	8	9	8	8	6	8
内授産活動利用者数	6	5	5	5	6	6	6	6	4	4	4	4
令和2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数				1	4	4	5	6	7	7	8	8
内授産活動利用者数				1	3	2	3	4	5	6	7	5

生活介護	収入	支出	内 授産活動工賃
令和3年度	9,492,579円	8,943,649円	281,800円
令和2年度	3,937,234円	3,900,008円	114,300円

⑤ 障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービス事業

内容	障がいにより介護の支援が必要な方(身体・知的・精神・難病等)を対象に、ホームヘルプサービス(居宅介護・重度訪問介護・同行援護)およびガイドヘルプサービスの提供を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市・大阪狭山市・堺市美原区等にお住まいで障がい福祉サービス(地域生活支援)受給者証をお持ちの方

居宅介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	3,708,906円	4,106,450円	954名	1,097.0時間
令和2年度	5,138,970円	5,600,929円	1,295名	1,478.8時間
31(令和1)年度	4,461,634円	4,524,566円	1,074名	1,158.1時間
30年度	5,308,677円	5,142,017円	1,323名	1,409.6時間
29年度	6,418,110円	5,881,119円	1,605名	1,680.0時間

重度訪問介護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	435,955円	551,645円	82名	154.5時間
令和2年度	349,127円	338,090円	63名	120.5時間
31(令和1)年度	320,772円	325,297円	53名	108.5時間
30年度	500,276円	484,571円	115名	201.8時間
29年度	1,836,200円	1,680,773円	380名	625.0時間

同行援護	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	307,330円	276,310円	52名	80.0時間
令和2年度	586,223円	559,835円	35名	120.5時間
31(令和1)年度	484,849円	495,856円	49名	156.5時間
30年度	304,306円	294,752円	32名	123.5時間
29年度	413,286円	378,707円	56名	192.0時間

移動支援(ガイド)	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	41,000円	268,856円	39名	21.5時間
令和2年度	84,000円	58,634円	44名	41.0時間
31(令和1)年度	421,000円	426,938円	144名	209.3時間
30年度	822,000円	796,194円	245名	408.0時間
29年度	731,500円	670,297円	163名	346.0時間

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
居宅介護	19	17	18	17	18	17	18	15	13	13	12	11
重度訪問介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
同行援護	0	1	2	1	0	1	2	4	2	2	3	3
移動支援(ガイド)	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
合計	21	20	23	21	20	20	22	21	17	17	17	16

⑥ 障害者総合支援法に基づく指定特定相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター

実施日時	9:00～17:00 但し、原則 日曜日・祝日および12/30～1/3を除く
事業の対象者	主に富田林市にお住まいの障がい者

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
令和3年度	6,754,989円	8,268,770円	467名	96名
令和2年度	6,514,298円	7,997,512円	410名	85名
31(令和1)年度	5,632,788円	7,439,713円	409名	78名
30年度	5,774,020円	7,608,677円	366名	74名
29年度	6,094,525円	7,225,941円	407名	74名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度	42	42	35	40	35	46	41	35	35	41	40	35
令和2年度	37	37	41	38	41	43	43	34	32	40	38	40
31(令和1)年度	34	36	33	36	35	35	38	30	32	35	34	32
30年度	31	28	26	25	33	31	32	33	29	35	33	30
29年度	36	30	34	31	38	39	35	35	30	34	31	34

⑦ 児童福祉法に基づく指定障害児相談支援事業

内容	障がいにより介護が必要な方の在宅支援のため、適切な福祉サービス利用ができるよう、サービス等利用計画(案)の作成・計画相談支援等を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	9:00～17:00 但し、原則 日曜日・祝日および12/30～1/3を除く
事業の対象者	主に富田林市にお住まいの障がい者

	収入	支出	延べ利用者数	年度末実利用者数
令和3年度	2,336,128円	2,997,454円	153名	13名
令和2年度	3,467,975円	3,295,914円	170名	17名
31(令和1)年度	2,575,800円	3,392,444円	165名	20名
30年度	1,411,966円	1,842,424円	106名	13名
29年度	838,106円	993,555円	65名	9名

実績請求件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和3年度	12	14	15	14	15	14	13	12	13	13	12	6
令和2年度	14	14	15	15	14	15	16	13	15	15	15	9
31(令和1)年度	13	11	14	12	12	16	15	13	15	16	13	14
30年度	8	7	10	7	5	10	6	5	13	13	9	13
29年度	6	3	5	4	3	8	5	5	7	5	5	9
28年度	1	4	3	1	3	3	2	3	5	4	3	6

⑧ 市町村福祉施策に基づく受託事業

1) 高齢者見守り訪問事業

内容	富田林市からの受託事業。 家に閉じこもりがちな方、見守りが必要な方などを訪問して、安否の確認を行ったり、相談や話し相手などを通して、介護予防や必要なサービスに繋ぐなど、他機関との連携を行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	月曜日から金曜日9:00～17:00 (但し富田林市役所のカレンダーに準ずる年始年末及び祝祭日休み)
事業の対象者	富田林市民で高齢者見守り訪問を給付決定された方

見守り訪問	収入	支出	延べ利用者数
令和3年度	91,800円	220,412円	129名
令和2年度	144,200円	152,414円	196名
31(令和1)年度	147,000円	149,642円	111名
30年度	243,400円	525,477円	299名
29年度	976,149円	976,149円	342名

2) 認定調査

内容	市町村からの調査依頼に基づき、介護が必要な方のお宅に訪問し、要介護(要支援)認定の調査を行った。
実施場所	サンキューネット・ケアプランセンター
実施日時	月曜日から金曜日(但し年始年末及び祝祭日休み)

介護保険	収入	支出	延べ件数
令和3年度	328,000円	464,586円	82件
令和2年度	384,000円	466,015円	96件
31(令和1)年度	840,600円	1,083,035円	210件
30年度	455,880円	561,721円	113件
29年度	734,020円	901,178円	186件

⑨ 制度外在宅福祉サービス

1) たすけあい訪問サービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、公的福祉制度や介護保険制度で対応できないサービスについて要介護者・要支援者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、自立支援をベースとした訪問サービスの提供を行った。また、成年後見人や日常生活自立支援事業の金銭管理を受けておられる方で、ヘルパーの買物支援が必要な方の金銭を預り、入出金の記録(領収書添付)をまとめ、報告義務者宛に報告を行うといった支援も行った。
実施場所	サンキューネット・ヘルパーステーション
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00) (但し、原則 日曜日および1/1～1/3を除く)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	収入	支出	延べ利用者数	提供時間数
令和3年度	329,500円	331,563円	144名	143.3時間
令和2年度	440,254円	553,744円	168名	171.3時間
31(令和1)年度	770,880円	781,752円	340名	328.0時間
30年度	1,087,800円	1,053,650円	483名	544.3時間
29年度	1,632,050円	1,495,500円	768名	937.0時間

2) たすけあいデイサービス

内容	“困った時はお互い様”の精神のもと、必要な方に必要なサービスを提供できるよう、介護保険限度枠を超えて要介護者を支援し、ご家族の支援を含めた視点で、地域生活自立支援をベースとしたデイサービスやお食事の提供を行った。また緊急時や必要な時にいつでも利用できるお泊りサービスを実施。通所介護・生活介護ご利用者の食事提供もを行っている。
実施場所	サンキューネット・デイサービスセンター
実施日時	1年を通じて実施(9:00～17:00)
事業の対象者	富田林市、大阪狭山市等にお住まいの方

	令和3年度	令和2年度	31(令和1)年度	30年度
収入	5,301,420円	5,364,710円	4,626,570円	4,674,830円
支出	4,721,343円	4,571,764円	4,264,792円	4,303,597円
延べ利用者数	デイ 14名	デイ 82名	デイ 68名	デイ 39名
	ショート 773名	ショート 1,178名	ショート 771名	ショート 902名

* デイ延べ利用人数は、限度枠内デイサービス及び生活介護の食事提供者数を除いた人数

- (2) リサイクルに関する事業
実績なし
- (3) 本会の目的を達成するための研修・啓発など
実績なし
- (4) その他、目的を達成するために必要な事業
事務局活動

1 地域活動

- 「さわやか元気クラブ」を定点で実施し、地域とのつながりの中で介護予防・相談支援等に取り組んだ。
- 富田林市第3圏域「地域づくりたい」に協働参加し、包括支援センター等との連携を図り、地域支援を行った。定例会議(毎月)・出張相談会・事例検討会・広報紙作成等を共に行った。
- 「高辺プラザ」に参加し、地域の方々との出会いを通して、地域に密着した相談支援機関として活動した。

2 事務局

実施場所	特定非営利活動法人サンキューネット 事務局	
実施日時	1年を通じて実施	(但し、日曜日および12/31～1/3を除く)
	法人事務および本会の目的を達成するための事業	
収入	2,194,976 円	会費・寄付金・助成金等
支出	4,522,952 円	人件費4,107,667円、その他経費415,285円

IV 総会の開催状況

① 第22回定期総会

- 日時 令和3年5月25日 午前10時～
- 場所 サンキューネット・デイサービスセンター
- 社員総数 55 名
- 出席者数 55 名 (書面評決者を含む)
- 議案の内容
 - 令和2年度事業報告及び収支決算報告、並びに監査報告
 - 令和3年度予算案・事業計画案について
 - 任期満了に伴う役員改選の件
 - 訪問型サービスAの指定取下げの件
 - 令和3年度事業計画案について
 - 令和3年度予算案について
 - 議事録署名人の選出の件
- 審議結果
全員異議なく承認。

V 理事会その他の会議の開催状況

1. 令和3年度理事会
 - 1) コロナの渦中にあるため令和3年5月3日、総会会議資料を各理事に郵送。
5月13日、書面評決の結果、全員が賛成。
 - 2) 平成3年5月25日 午後1時～富田林市五軒家1丁目4番11号(サンキューネット・デイサービスセンター)にて、理事の互選を行う。
理事長に理事 國司隆子を選定すること。
副理事長に理事 村上みどり、理事 山口任規を選定すること。
なお、被選定者は、その就任を承諾した。

2. 運営会議
年間を通して毎月1回定期開催
メンバー； 事業ごとの管理者、サービス提供責任者
内容；
各部門の事業実績報告、今後の取組みなど、情報交換を行っている。
各部門間の相談・助言の場としても機能している。

3. 定例会
各事業部門毎に、年間を通して毎月1回定期開催
メンバー； 各事業部門のスタッフ
内容； 運営会議の報告、意見交換、情報交換、研修等を行っている。